

受験番号	
------	--

令和 8 年普及指導員資格試験

審査課題イ（植物保護）

（注意事項）

- ・試験開始の指示があるまで、この試験問題を開かないこと。
- ・解答時間は、2 時間である。
- ・**選択問題について、指定された選択数を超えて解答した場合、受験者の解答順に選択数の解答のみを採点する。**
- ・答案の作成に当たっては、B 以上の濃さの鉛筆又はシャープペンシルを用いて、明瞭に記載すること。
- ・答案用紙は無記名とし、全ての用紙に受験番号と選択項目名を記載すること。
- ・答案用紙は、設問（左上に記載）ごとに、番号（右上に記載）の順に使用すること。
- ・答案用紙の設問 1 の選択番号欄には、設問より下位の番号を全て記載すること。（例：（1）①）
- ・試験終了後は、白紙のものも含め、全ての答案用紙を回収する。
全ての答案用紙を右上の番号順に並べ、左上をクリップで留める。
- ・試験問題にも受験番号を記載すること。

令和8年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

設問1 用語解説問題

次の事項について簡潔に説明しなさい。(各250字程度、全体で1,250字程度)

なお、(1)については、必須課題として二つとも解答し、(2)については用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

- ① 農薬の作用機構分類 (RACコード)
- ② 病害虫・雑草発生における温暖化の影響

(2) 選択

- ① 植物病害の潜伏期間
- ② チュウゴクアミガサハゴロモ
- ③ ICT・IoTを活用した鳥獣害対策
- ④ 水田における表層剥離
- ⑤ 土着天敵の保護・強化
- ⑥ 農薬登録に係る安全性評価
- ⑦ 真正抵抗性と圃場抵抗性

設問2 技術適用力問題

次の設問に解答しなさい。(1,300字程度)

総合防除 (IPM) を実践するための基本的考え方を述べなさい。次に、あなたの地域で生産されている作物の病害虫・雑草管理において、総合防除を導入することのメリット並びに普及上の問題点を、具体例を挙げながら説明しなさい。